

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホームおおきな家		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成27年2月23日	評価結果市町村受理日	平成27年3月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0175800291-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0175800291-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成27年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者が居心地良くホームでの生活が送れるよう、雰囲気作りを大切に支援をし、また、ご利用者様から、自然に笑顔がこぼれる穏やかな馴染みの環境や関係を作ることができるよう心がけ、穏やかで快適な生活を送っていただけるよう支援していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周囲に田園風景が広がる住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。玄関前に公園があり、同一法人のグループホームなどがある隣接地には畑やパークボール場などがあり、散歩や外気浴を楽しむことができる。移転新築した建物は新しく清潔で、南に面した窓から光が差し込み、明るく快適である。小鳥を飼い、和やかな雰囲気となっている。地域交流に力を入れ、玄関前の公園で行われる「花いっぱい運動」や同一法人のグループホームでの音楽療法に参加している。また、法人として1年前から地域の方にカラーライスを提供して交流する地域交流会を開催し、事業所の職員も協力している。町との連携では、運営推進会議やサービス調整連絡会議で情報交換を密にして連携している。職員が利用者に優しく話しかけ、利用者も自分のペースで明るく過ごしており、利用者の身だしなみにも職員の配慮が見られる。また、行きつけの理美容院への通いや個別の買い物などの支援もきめ細かく行っている。受診支援の面では、月2回の往診体制を整え、かかりつけ医への定期受診を支援している。彩りや品目が豊富で美味しい食事が提供されており、利用者もできる範囲で手伝いを行っている。外出支援の面では、日常的な散歩や買い物、通院の他、年間行事で花見やドライブ、紅葉狩りなどに出かけ、楽しんでいる。

V. サービスの成果に関する項目(東館アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったりと楽しく、自由にありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に」の理念を共有し実践するよう日々、努力しています。	理念の4項目の「みんなとともに」という文言に、利用者や職員だけでなく、町内の地域の人々などともという意味を込めている。理念を共用部分に掲げ、職員間で共有しており、理念をメモに書いて携帯する職員もいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の「花いっぱい運動」や「清掃活動」に利用者様と積極的に一緒に参加し交流を深めています。	玄関前の公園で行われる「花いっぱい運動」に参加したり、秋祭りで子供神輿が事業所に立ち寄っている。同一法人のグループホームに来る音楽療法に参加している。法人として地域交流会を1年前から開催し、職員が協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の研修会等に職員は参加して知識を深め地域や、また身近な方々に少しでも啓発するよう日々努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、ご家族様や地域の方の意見交換を通して貴重な意見を頂き、サービス向上に努めています。	年2回、運営推進会議を開催し、町の職員、地域代表、民生委員、家族などが参加している。外部評価や感染症、認知症、地域交流会などをテーマに話し合っている。議事録を事業所内で公開しており、今後は家族への送付も検討している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者は、役場が主催するサービス調整会議に参加し町内の福祉関係者等との情報交換を行い協力関係を構築できるよう努力しています。	運営推進会議に町職員の参加があり、町内でほぼ毎月開催されるサービス調整連絡会議に管理者が出席し情報交換している。カレーライスを用意して地域の方に集まってもらう地域交流会についても町の高い評価が得られている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、身体拘束をしないケアを日々実践しています。また、玄関、内ドアも施設せず常にオープンにしています。	禁止の対象となる具体的な行為を明記した身体拘束に関するマニュアルを用意しているが、勉強会などは行っていない。ケガ予防のためなど、家族の要望などでやむを得ず身体拘束をする場合は家族の同意を得ている。玄関は夜間のみ施設しており、出入りがあればセンサーで分かるようにしている。	全職員が身体拘束の禁止の対象となる行為の理解を深めるよう、定期的な勉強会や研修の開催を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、虐待防止についての研修会を通じ共通の理解と認識を深め、日々実践しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	「権利擁護」「成年後見制度」に関して日々学習するよう努めています。また、それらを活用した支援は現在までありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、ご利用者様、ご家族様に十分に説明、丁寧に分かりやすく説明するよう心がけています。分からない納得できない部分は、何度でも説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が気軽に、ご意見ご要望を言って頂けるように信頼関係を築く努力をしています。また、ご家族皆様が気軽に来訪して頂けるよう心がけています。(頂いた意見、要望は法人本部と相談できる体制もあります。)	家族が来訪した際や介護計画説明時に意見を聞き、得られた意見を連絡ノートや個人記録に記載し共有している。毎月個人毎に写真入りの「おおきな家便り」を作成して家族に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部は定期的に職員とのミーティングの機会を設けています。意見や提案を聞く機会を設けています。	毎日の申し送りや随時のミーティングで活発に意見交換を行っている。また、法人の理事長が頻繁に事業所を訪れており、職員はいつでも面談ができる。職員は行事や除雪、外周り清掃、ペットの世話などを分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人本部は個々の職員の能力や努力、実績や勤務状況等を把握し職員が向上心を持てるよう配慮している。また、パークゴルフ大会、小旅行、食事会等なども行われています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で、研修等を無理のない範囲で開催しています。その日、参加できなかった職員には別の日に参加できるようしています。どうしても参加できなかった職員には、資料を配布し個々で学べるよう配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	札幌等で開催される同業職種との勉強会や交流会に参加し、他事業所とネットワーク作りや、サービス向上に取り組む機会としています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様が安心して暮らしていただけるように困っていること不安に思っていることに耳を傾けながらより良い関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に思われていることや困っていることに対して直ちに対応できるように努め、日々のご家族様の言葉に耳を傾け信頼関係を築けるよう努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の思いや必要とされるニーズ確認しどのように支援を行うことができるかを検討し、より良いサービスを提供できるよう努力しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は常に、ご利用者様と同じ目線にて対応し、日々の生活をお互いに協力しあい本当の家族に少しでも近づけ暮らしていけるようにな関係作りをしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様は、日々の状況をお手紙、電話連絡、来訪時にお知らせし、意見や相談を受け、ご利用者様と一緒に支えていくことができるよう努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居される時、ご本人様の使用されている身近なものを持参していただいたり、馴染みの美容室等の送迎や、知人の方々の来訪して頂、継続的な交流が続けられるよう支援しています。	5名ほどの利用者に昔の趣味仲間や仕事仲間が来訪している。自分で携帯電話を利用している方もいる。馴染みの理美容院への通いや、希望に沿った買い物の同行支援をしている。病院帰りに外食をしたり喫茶店に寄る方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係作りのため、毎日茶話会を開催しています。職員も参加し、ひとりひとり楽しい会話を持てるよう心かけています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院された場合、馴染みの関係が壊れないように病院へ会いに行くように努めています。また、手作りのお菓子なども差し入れることもしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の日々の会話の中から希望や意向の把握に勤め、ご本人様に寄り添った支援をするように心がけています。困難な場合、ご家族様にお話をお聴きしご本人様に寄り添う支援を心がけています。	半分以上の方が言葉で思いや意向を表現でき、難しい方の場合も表情やしぐさ、過去の経験などをもとに思いや意向を把握している。フェイスシートを1年毎、課題分析(アセスメント)概要を3か月毎に更新し、情報を蓄積、共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様、ご家族様、担当ケアマネに、生活の状況や生活環境等の情報をお聴き把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当ケアマネからの情報や日々の生活での関りにて生活リズムの把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様の意向をお聴きし取り入れ、アセスメント、モニタリングを基に、定期的に現状に即した介護計画を作成しています。	3か月毎に介護計画を更新している。モニタリングをもとにサービス担当者会議で意見交換し、次の計画を作成して家族に説明している。個人記録は計画目標を意識して記入する様式であるが、プランに沿った記録は十分に行えていない。	計画目標に番号を振ったり、計画目標を見やすい部分に明示して、目標を意識するようにし、日々の計画の実施状況やその際の利用者の様子が継続的に記録されることを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを用意して、日々の記録をしています。職員間で共有しケアの実践に反映しています。また、介護計画の見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様、ご家族様の色々なニーズに、柔軟に対応できるよう努力しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に職員と一緒に参加し地域との関りを深めています。また、地域の中で楽しく生活できるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ病院に定期受診の支援を行っています。職員も付き添い主治医との関係を大切にしています。	4名の利用者が月2回の往診を受けている。その他は個々のかかりつけ医を定期受診しており、事業所で通院を支援している。個人毎の「受診経過記録」に受診状況を記録し、職員間で情報を共有している。	

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が配置され、常に、ご利用者様の健康管理や状況の変化に応じた支援ができる体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、常に、ご利用者様、ご家族様と情報連絡行っています。医療機関とも連携を図り、早期退院できるよう努めています。また、職員はお見舞いに伺い相談対応するように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、ご本人様、ご家族様の希望があれば対応するよう努めています。	重要事項説明書の中の「重度化対応・終末期ケア対応指針」に沿って事業所の方針を説明し、同意を得ている。昨年、1名の方の看取りを経験しており、利用者のためのエアマットを用意するなど、希望に応じてできる範囲の対応を行う方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防職員の指導にて、定期的に避難訓練、消防訓練に参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、地域住民の方々も避難訓練等に参加して頂いています。協力体制も築いております。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を消防の協力ののもと行っているが、最近では地域住民の参加が得られていない。救急救命訓練は2名の管理者が受講している。備蓄品については準備ができています。	避難訓練に地域の方の協力が得られるよう、継続的な呼びかけを期待したい。また、全職員の定期的な救急救命訓練の受講と、地震等火災以外の対応についての話し合いや確認を期待したい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳や人格を大切に、プライバシーにも配慮し、優しい丁寧な言葉かけを心がけています。	名前を「さん」付けで呼び、丁寧な言葉かけで対応している。事務所で記録を書いているが、見守りながら居間で書く時は、個人情報に注意して行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様、一人一人に合った言葉かけを心がけ、自己決定できるよう希望を表すことができるよう努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のペースを大切に生活できるよう対応し支援できるよう努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、入浴時等に洋服と一緒に選び好みを聴きながら自己決定できるように支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の好みを把握したり食材の下こしらえの準備をお願いし職員と一緒に頂いたり、食器拭き等の色々な協力をしています。	季節の料理や行事食を取り入れて本部で献立を作成している。職員は近くのスーパーで新鮮な食材を調達し、彩りや品目を多くして食事を提供している。利用者も食材の買い物に同行したり、ジャガイモの皮をむいたりして調理に参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の個々のチェック表にて水分量、食事を把握し習慣に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、口腔ケアを行っています。声かけ、介助行いケアしています。また、終寝時は、入れ歯の洗浄を毎日行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿表にて排尿パターンを把握しトイレ誘導を行う支援をしています。個別に声かけ、誘導介助を行っています。	「生活シート」に全員の排泄の状態を記録し、日中は殆どの利用者がトイレで排泄し、夜間も可能な限りトイレに誘導している。6割の利用者が自力でトイレに行くことができ、個々の状況に合わせて羞恥心に配慮しながら声かけや介助を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便パターンを把握し時間にてトイレ誘導おこないます。個々に下剤使用されている方もいます。毎朝牛乳や、乳製品を多くとれるよう工夫しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として平日が、入浴日ですがおよ個々に応じて土曜日、日曜日でも柔軟に対応しています。	月曜日～金曜日を入浴日とし、午後の時間帯に週2回の入浴を支援している。受診などがある時は土曜日の午前中に変更することもある。職員の2人介助で浴槽に入り、またシャワーチェアの使用で安全な入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のお部屋にて自由に休んだりお昼寝されたりと、状況に応じ柔軟に対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルを個々に用意して、職員が薬の内容を確認できるようにしています。用法容量を適切に対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日、個々の体調に合わせ食事の後かたずや、掃除機のかけなどの役割に参加して頂いています。毎月のホームの行事に参加して頂き楽しんで頂いています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、毎日散歩に出かけたり、外気浴したりしています。さくら見学、もみじ見学などのドライブにも出かけられるよう支援しています。近くの自動販売機やコンビニに買い物にも出かけています。	天候を見て車椅子の人も一緒に周囲を散歩したり、事業所前の公園で散歩やお茶を楽しんでいる。季節の外出行事に参加できない時は受診の帰りに外食の機会をつくるなど、平等に外出が楽しめるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が必要に応じて支援しますが、ご本人様で管理できるかたもおられます。ご自分の欲し物などを買うことができるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様がご家族様、お友達の方々に自由に電話等ができるような雰囲気作りや声かけを行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、ゆたりと居心地良く過ごせるよう、騒がしくなく落ち着いた空間作りを心かけています。	居間は広々しており、食卓テーブルとソファを別に配置し、広い窓からは公園や田園風景が眺められる。庭にバラを植えて、ベランダから花々も楽しめる。観葉植物などが置いてあり、家庭的で温かな雰囲気である。居間から見えない場所にトイレや浴室があり、プライバシーに配慮した造りになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様が自由に過ごして頂けるよ、また、ご自分の空間が持てるよう、ご本人様用の座布団、クッションを使用され居場所作りにの道具にしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の馴染み品物を持ってきて頂きご自宅の雰囲気を作り出すようご家族さまと相談し居心地が良く過ごせるよう配慮しています。	居室には事業所で用意したベッドや整理ダンスのほか、馴染んだ座椅子、テーブルや小物類、テレビ、縫いぐるみなどが持ち込まれている。習字の作品や、利用者が塗り絵で仕上げたカレンダーが貼ってある。家族の写真などを飾り、居心地よい居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーになっていますので、個々の残存機能を活用し、いつまでも自立した生活がお送れるよう支援できるよう努力しています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホームおおきな家		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成27年2月25日	評価結果市町村受理日	平成27年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「東館」ユニットに同じ
-------------

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0175800291-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0175800291-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成27年3月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	[ゆったりと楽しく自由にありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共にの理念を日々努力して実践するよう心掛けております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の花いっぱい運動に参加したり、第1、3土曜日の音楽療法に参加したりしております。毎月第4日曜日の地域交流会を行い地域の方に参加していただいています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員は、認知症の研修会にも参加したり、法人内で行う研修会にも参加しており、身近な人々に少しでも啓発できるよう努力しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、今年度は、年4回開催し利用者様の状況や研修会の参加や内容について報告し、意見交換を行っております。でた、意見をサービス向上に生かすよう努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	協力関係を築くように努めております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、身体拘束の意味について学び、日頃より抑制する言葉や、傷つく言葉を使わないように配慮しております。また、玄関の施錠をしておりません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、虐待防止についての勉強を行っており、日頃より職員はご利用者様の身体状態を報告しております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日々学習するように努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、ご利用者様、ご家族様に時間をかけて説明をしております。疑問点なども、納得するまで説明をしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が気軽に意見、要望をいって頂けるよう、信頼関係や、雰囲気づくりにつとめております。いただいた意見は法人本部と相談できる体制があります。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の中で、意見交換を行うよう、心がけており検討して業務に反映させております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、直接的、間接的に就業の状況について把握につとめており、福利厚生にも力を入れております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務に無理のない程度で研修会に参加したりしております。参加ができなかった職員には書類などを渡して後日ミーティングで話をし実践に活かせるよう努めてます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	様々な機会を通じて、交流し意見交換の場を設けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様様の、不安に思っていることや困っていることに普段から耳を傾けて心から安心して頂けるよう関係づくりにつとめております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っていることや不安なことに、耳を傾けたり、言って頂ける雰囲気づくりに努めたり、日ごろからご家族との信頼関係を作れるよう努力しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様やご本人様のニーズや思いを確認して何度も話をお聞きして、よりよいサービスが支援できるよう努力しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、常にご利用者様の気持ちを汲み取り、協力しあう関係を築くよう努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に生活状況を月1回のお手紙を送ったり、来訪時にお知らせしており、ご利用者様と一緒に支えていく関係を築けるよう努力しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者さまの、なじみの知人様が来訪されたときはいつでも来訪できるよう雰囲気づくりに努め、継続的な交流ができるよう支援しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係づくりのために、職員が間を取り持ったりして会話をして孤立しないような支援に努めております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院された場合、なじみの関係が崩れないよう病院へいき会って状況を聞きながらフォローしております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の希望等をしっかりと日々の言葉や生活などを大切に意向の把握に努めております。困難な場合は本人本位に検討しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様のご家族や担当のケアマネージャー様に生活環境をお聞きして、把握するように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中や、ご本人様の言葉などから情報をお聞きして現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様本人の意向またご家族の意向をお聞きして、モニタリングを基に定期的に話し合いを行い、利用者様の現状に即した、介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意して、日々の記録をして職員間で気づいたことなど共有しながら実践したり、介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様、の現状にあわせて、臨機応変に対応しております。病院の通院介助、美容室、買い物等は個別に要望があったら対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の花いっぱい運動に参加し、関わりを持っております。ご本人様が安全で豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ病院へは、定期受診を行っております。職員も同行して、主治医との関係を大切に適切な医療が受けられるよう支援しております。入居時には、訪問診療を選ぶことが可能になっており、月2回診療を実施しております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が配置されており、職員は気づいたことを伝え相談し、個々の利用者様の健康状態や状況変化に応じた支援を受けられるようになってます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、ご利用者様が安心して、治療できるように、定期的にお見舞いへいき状態の確認をしております。早期に退院できるように病院関係者との情報交換、相談を努めるようにしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、ご家族のご希望もあり昨年4月に看取りをおこないました。訪問診療の先生と看護師と相談連絡を取りながらできることを職員全員で行いました。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防職員の指導にて、定期的に避難訓練消火訓練に参加しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、地域住民の皆様にも避難訓練等に参加していただき、災害時に備えた、協力体制や備品の用意もできております。		
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の、一人ひとりの人格を尊重して、丁寧な言葉かけをして、誇りやプライバシーを損なわないよう努力しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話のなかでご利用者様に合わせて自己決定ができるよう職員は働きかけをしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の自分のペースや時間を大切にして臨機応変に対応するよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、入浴時に自己決定ができるよう支援していきます。美容室へ行きたい方は個別に対応しております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様に好みをお聞きして、楽しく食事ができるように努力しております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の水分量、食事量を把握して記録して習慣に応じた支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っております。介助が必要な方には職員が補助をしておこなっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間にて声掛けをして、誘導しております。個々のチェック表にて把握して声掛け誘導介助をおこなっております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成して、リズムを確認して水分を多めにとっていただいたり予防しております。下剤の使用をしているかたもいらっしゃいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として、月曜日から金曜日までですが、個々の希望、体調に応じて柔軟に対応しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に状態に応じて、柔軟に対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が個々の薬の内容を理解できるよう確認するよう心がけ、症状の変化など副作用などわからないことがあれば、薬局に確認したりしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合わせたホーム行事、一人ひとりが力を発揮できるよう役割に参加していただいで気分転換の支援をしております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所の公園や、東屋にて日光浴をしたりしております。ご本人が希望される買い物等は、職員もサポートして出かけております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様、ご家族様がお財布をお渡ししている方もいらっしゃいます。個人で管理できるように職員もサポートしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様が気軽に電話などして頂けるよう声掛けや雰囲気づくりをしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、居心地よく過ごせるように、雰囲気づくりをする工夫を心がけております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由にご自分のペースで過ごせるように、声掛けをして自由にしていただける雰囲気づくりをしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、今まで使っていたなじみの物を置いて頂いたり、配置をしたりしてご本人様が安心して過ごして頂ける環境づくりをしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して、自立した生活が送れるよう、環境を整えたり変化に応じて、変えたりと自立生活できるよう支援しております。		

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム おおきな家

作成日：平成 27年 3月 27日

市町村受理日：平成 27年 3月 30日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画の実施状況やその際のご利用者様の様子が、継続的に記録されていないことがある。	個人記録用紙のケアプラン目標実施状況の記載を確実に行う。	個人記録用紙には、介護計画目標を意識して記載する箇所があるので日々の介護計画の実施やその利用者様の様子を記載する。介護計画の短期目標に番号をふりすべての職員がチェックできるように準備していきます。	1年
2	6	全職員が身体拘束禁止の対象となる勉強会や研修会の開催の機会がなかった。	身体拘束禁止の対象となる行為の理解を深めるため定期的な研修会を開催する。	定期的に、職場内にて勉強会を開催していく、新人職員が入社した際は、その都度全職員も一緒に勉強会を開催する。	1年
3	35	避難訓練に地域の方々の協力が得られてない。	継続的に、地域の方に声をかけて参加を得られるようにしていきたい。	避難訓練の実施を地域の方に通知して、参加を呼び掛けたい。救命訓練の受講を全職員に参加の機会をつくりたい。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。